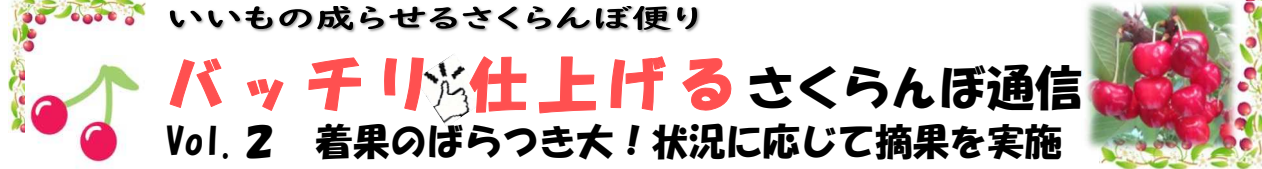


いいもの成らせるさくらんぼ便り

**バッチリ仕上げる さくらんぼ通信**

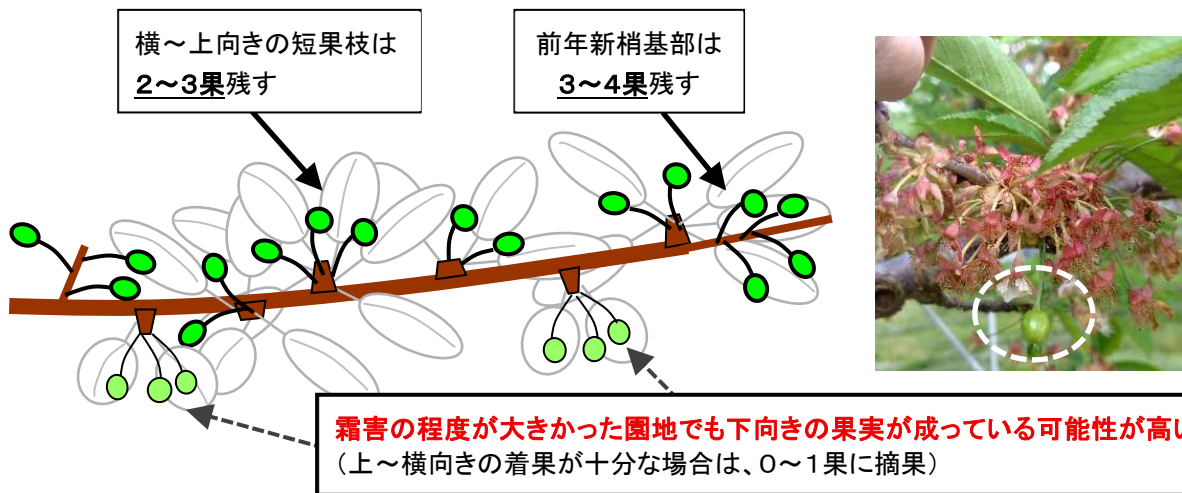
Vol. 2 着果のばらつき大！状況に応じて摘果を実施



- ◆ 「やまがた紅王」「紅秀峰」は、着果状況を確認し、**今すぐ摘果！**
- ◆ 着果のばらつき大！**双子果多！**園地の状況を確認してから摘果！
- ◆ 生育は平年より**5日程度早い！**雨よけ被覆は**遅れず計画的に！**

## 1 霜害の影響あり！園地全体の着果状況をしっかり確認！

- 実止まりが見えてきた「やまがた紅王」「紅秀峰」は今すぐ摘果
- 霜害の影響で、着果位置（高さや方向）により、着果のバラつきが大きい
  - ☞ 霜害の程度が大きかった園地は、遅い花に正常花が多いため、しっかり確認
  - ☞ 全体的に着果が少ない場合でも、着果過多の部分は摘果を実施
- 摘果はスピード勝負！！まずは園地全体を確認し、粗くひと回りする！  
着果が多い箇所（樹の上部、受粉樹の近く）、樹勢が弱い樹ほど早く
- 着果の目安：花束状短果枝当たり平均**2～3果**



横～上向きの短果枝は **2～3果**残す

前年新梢基部は **3～4果**残す

**霜害の程度が大きかった園地でも下向きの果実が成っている可能性が高い**  
(上～横向きの着果が十分な場合は、0～1果に摘果)

- **双子果**は、「紅秀峰」では例年よりも多い傾向

### 【双子果が多い部位・品種】

- ・ 樹上部や南側等の日当たりの良い部位
- ・ 上向きの花束状短果枝や2年枝基部
- ・ 樹勢の弱い樹
- ・ 「紅秀峰」



### ■ 着果状況を確認

着果不足は高温障害の発生を助長するため、  
着果が少ない場合、**双子果を摘果せずに着果量を確保**

## 2 積極的に灌水！

**今後の高温乾燥に注意！高温に関する早期天候情報発令(5/16頃～かなりの高温)**

- 満開後 **30日頃**（5月中旬）までは、果実を肥大させるため、  
**十分な水分が必要**  
⇒ **7日間隔程度で、20～30t/10a 灌水**
- 「やまがた紅王」「紅秀峰」は特に**たっぷり灌水！**  
(「佐藤錦」よりも多めに管理)



### 3 初期防除が肝心！雨よけ被覆前の防除を徹底！

- 灰星病の発生が平年よりも早い！発生を確認した場合は、直ちに摘除し、防除を徹底
- **褐色せん孔病の胞子の初飛散を確認（5月3日）！**  
胞子の飛散量は**5月5半旬にかけて増加**するため、逃さず防除
- 散布間隔は**10日**を目安に**雨前防除**を徹底
- 防除は、灰星病と褐色せん孔病の両方に登録がある剤を使用



■ 幼果腐れ

### 4 今年も生育が早い！計画的に作業を進め、早めに被覆！

## さくらんぼ作業中の事故に注意！

- ・毎年、被覆時の転落事故が発生している！
- ・以下の点に注意し、事前にしっかり準備・点検して、焦らず、計画的に作業を進めよう。

#### ◆ 危険な場所がないか「事前」に確認

- ① パイプはさびていないか？
- ② クランプはさびていないか？
- ③ マイカ線は古くなっていないか？
- ④ 地面や施設が濡れて滑りやすくなっていないか？



■劣化したパイプは交換

#### ◆ 作業時の注意点

- ① 動きやすい服、滑りにくい靴を着用する
- ② 高所作業時はヘルメットを着用する
- ③ 脚立の天板には乗らない
- ④ 脚立の開脚防止チェーンをかける
- ⑤ 疲労回復に努め、疲れたら無理せず作業をしない
- ⑥ 複数人で作業する



■天板には乗らない

#### ◆ 熱中症予防のポイント

- ① 暑い時間帯の作業は控える
- ② こまめに休憩し水分・塩分を補給する
- ③ 熱中症対策アイテムを活用する
- ④ 複数人で作業する



■ファン付きウェア



■ネッククーラー

こちらのQRコードから「やまがたアグリネット」のホームページにアクセスすると【さくらんぼ作業の事故防止のために 安全対策事例集<第2版>】が閲覧できますので、ぜひご覧ください。





- 果実肥大には土壌水分が重要!積極的にかん水を実施する
- 実止まりが見えてきた!生理落果に注意して丁寧に摘果する

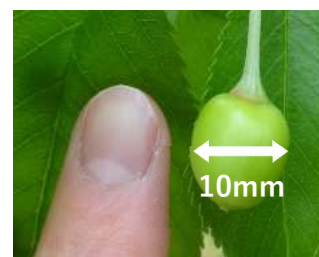
### 1 積極かん水で階級アップ

今後の高温乾燥に注意!高温に関する早期天候情報発令(5/16頃~かなりの高温)

- 肥大促進のため、**1週間間隔を目安にたっぷりかん水**(10aあたり20t程度)  
雨よけ被覆後(着色期以降)も3~4日間隔で少量かん水
- 過乾燥は、葉の早期黄変、落葉につながる

### 2 摘果で等階級アップ

- 実止まり確定後は、速やかに摘果する<満開20日後頃、(今年は5/4~9頃)に果実横径10mm以上の果実は結実>
- 着果量は**花束状短果枝当たり1.5果~2果未満**  
**摘果時は少し足りなく感じる**が、肥大すると十分な着果量に
- 双子果は摘果する(今年も双子果が見られます)
- 果実同士が接すると着色ムラになるので、**肥大してもくっつかないように**摘果する



生理落果に注意!!

- ・樹勢が強い樹
- ・着果が少ない樹

- ・生理落果が発生しやすい(満開30~40日後頃)満開20日後頃に1回で仕上げると着果が不足する場合がある
- ・2年枝基部は生理落果しやすい

### 【若木の摘果の進め方】 2回に分けて丁寧に摘果する

① 粗摘果 (満開20日後頃:5月上旬~)

2年枝の基部:3果程度  
花束状短果枝:1~2果程度

② 仕上げ摘果 (満開40日後頃:5月下旬)

2年枝の基部 花束状短果枝を含め、  
全体で1.5~2果未満に調整



Point

2年枝基部はやや多めに着果させる

- ※ 葉数の多い短果枝は2果程度、葉数の少ない短果枝は0~1果にし、メリハリをつける
- ※ 全体的に着果が少なくても、過着果な部分は必ず摘果する